

氏 名 竹 原 威 滋
所 属 ・ 職 名 教育実践開発講座・教授
(異文化理解教育系)
研究室電話番号 0742-27-9272
(ダイヤルイン・FAX 兼用)



電子メールアドレス takehat@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 大阪市立大学大学院文学研究科修士課程修了(1968)
文学博士(大阪市立大学 2005)

所 属 学 会 等 国際口承文芸学会(International Society for Folk-Narrative Research),
説話伝承学会・常任委員, 日本口承文芸学会・理事

専 門 分 野 ドイツ伝承文学, 日欧の民間説話比較研究

研究と教育について

日本の伝承も世界的な視野でみると, 東西文化の交流の跡が認められ, 説話の世界の意外な国際性が明らかとなる。このような視点から, 日欧の文献を渉猟し, 東西の説話を比較研究している。その際, 本学附属図書館所蔵の大型コレクション『世界民間伝承文献集成』(マイクロ・フィルム 820 巻)が大いに役立っている。また, 学生の協力を得て, 奈良県下の民話調査も実施している。

学生の「文学ばなれ」の傾向がますます強くなっている一方, 情報化, 国際化の時代を迎え, 身近かに外国の文化に触れることの多い昨今, ドイツ文学の分野でも, ドイツ人の生活文化や民間伝承に関心を抱く学生が少なからず増えてきている。そのような学生の期待に応えるべく, 語学授業でも, ハイデルベルク大学との交換留学生にアシスタントとして協力してもらったり, また, ビデオ教材を用いたりして, 生きたドイツ語が身につくよう日々工夫に努めている。

主 な 研 究 業 績

- ・『運命の女神—その説話と民間信仰』(翻訳書) R.W. ブレードニヒ著 白水社 360 頁 1989.
- ・『世界の龍の話』(編著書) 三弥井書店 241 頁 1998.
- ・『奈良市民間説話調査報告書』(代表編著) 奈良教育大学刊 266 頁 2004.
- ・異界訪問譚における山の精霊たち—世界の「瘤取り鬼」をめぐる—:『説話—異界としての山』(説話伝承学会編・翰林書房) 所収 1997.
- ・眠り姫の実像に迫る—グリム童話と民間伝承—:『ユリイカ・特集グリム童話』1999.4月号(青土社) 所収

主な授業担当科目

東西文化交流論(総合教育課程), ドイツ言語文化論(総合教育課程), ドイツ語会話(総合教育課程), ドイツ語(外国語科目), 総合学習と異文化理解(大学院)

学 会 活 動 説話伝承学会, 日本昔話学会の事務局長を各1期2年歴任し, 現在, グリムと民間伝承研究会と比較民話研究会を主宰している。

社 会 的 活 動 「奈良子どもの本連絡会」の会員として, 地域の民話・語りの文化の再生を願って微力ながら活動している。

講 演 の テ ー マ 下記のテーマで教育機関や公民館での出前講義・公開講演を致します。
・シルクロードと民話—『瘤取り爺さん』をめぐる—
・語り継ごう! 奈良の民話
・世界遺産と大和の民話
・二十一世紀と民話—電網文芸『世界百人村』と地域国家連合—
・グリム童話と近代メルヘンの誕生—『眠り姫』をめぐる—
・チェコ・プラハのカレル橋と高山の味噌買橋—橋をめぐる民話の国際性—